

令和元年度 第 3 回 沖縄県がん診療連携協議会議事要旨 (案)

日 時	令和元年 1 月 1 日 (金)	14:05~17:00
場 所	琉球大学医学部 管理棟 3 階	大会議室
構 成 員	36 名	(欠席者 7 名)
1 号委員	(琉大病院長)	大屋 祐輔
2 号委員	(県立中部病院長)	本竹 秀光
	(那覇市立病院長)	屋良 朝雄 (代理) 新垣 均
3 号委員	(県立八重山病院長)	篠崎 裕子
	(北部地区医師会病院長)	諸喜田 林
4 号委員	(沖縄県医師会長)	安里 哲好 (欠席)
5 号委員	(沖縄県歯科医師会長)	真境名 勉 (欠席)
6 号委員	(沖縄県薬剤師会長)	亀谷 浩昌 (欠席)
7 号委員	(沖縄県看護協会会長)	仲座 明美 (欠席)
8 号委員	(沖縄県政策参与)	対象者なし (構成員外)
9 号委員	(沖縄県保健医療部長)	砂川 靖 (代理) 糸数 公
10 号委員	(琉大がんセンター長)	増田 昌人
11 号委員	(琉大医療福祉支援センター長)	平田 哲生 (欠席)
12 号委員	(琉大薬剤部長)	中村 克徳
13 号委員	(琉大看護部長)	大嶺 千代美 (代理) 大城 和江
14 号委員	(琉大事務部長)	鬼村 博幸
15 号委員	(県立中部病院副病院長)	玉城 和光
	(県立中部病院血液腫瘍内科部長)	朝倉 義崇 (欠席)
	(那覇市立病院外科統括科部長)	宮里 浩
	(那覇市立病院外科部長)	友利 寛文
16 号委員	(県立八重山病院外科部長)	尾崎 信弘
	(県立八重山病院副院長)	平良 美江
	(北部地区医師会病院副院長)	柴山 順子
	(北部地区医師会病院看護部長)	我如古 春美
17 号委員	(沖縄県がん患者会連合会事務局長)	安里 香代子
	(がんの子供を守る会沖縄支部代表幹事)	片倉 政人
	(公益社団法人日本オトミ協会沖縄支部長)	大城 松健
	(ゆうかぎの会(離島圏におけるがん患者支援を考える会)会長)	真栄里 隆代
18 号委員	(国際医療福祉大学大学院教授)	埴岡 健一
	(一般社団法人グループ・ネクサス理事長)	天野 慎介
	(沖縄タイムス編集局社会部記者)	新垣 綾子
19 号委員	(県立宮古病院長)	本永 英治
	(県立宮古病院外科部長)	松村 敏信
	(県立宮古病院副院長)	中山 幸子
	(琉大病院病理部長)	吉見 直己
	(琉大病院小児科講師)	百名 伸之
	(那覇市立病院放射線科部長)	足立 源樹
部会報告者	緩和ケア・在宅医療部会	笹良 剛史
	小児・AYA部会	百名 伸之
	離島・へき地部会	松村 敏信
	情報提供・相談支援部門	大久保 礼子
陪 席 者	琉球大学医学部附属病院地域医療部特命准教授	中島 信久
	沖縄県立中部病院	吉田 幸生
	沖縄県保健医療部健康長寿課	仲里 可奈理

議事要旨・議事録・委員一覧

1. 令和元年度第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(10月21日開催)

増田委員(10号委員)から、資料1の第3回幹事会議事要旨(令和元年10月21日開催)の確認があった。

2. 令和元年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(8月2日開催)

増田委員から、資料2の第2回協議会議事要旨(令和元年8月2日開催)の確認があった。

3. 令和元年度2回沖縄県がん診療連携協議会議事録(8月2日開催)

増田委員から、資料3の第2回協議会議事録(令和元年8月2日開催)の確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会委員一覧

増田委員から、資料4に基づき、部会委員の一部に変更について報告があった。

有識者報告事項

1. 埴岡委員報告

埴岡委員(18号委員)から資料5に基づき、沖縄県がん対策推進計画の中間評価と指標について、評価作成のポイントや指標の紹介等について報告があった。併せて埴岡委員会から、沖縄県が作成した前回の中間評価は先進的であったことから今回の評価も前回同様以上の有効な評価資料を期待したいとの発言があり、沖縄県医療保健部系数氏(砂川9号委員代理)から、増田委員の協力を受けながら作成していく予定であるとの回答があった。

また、天野委員(18号委員)から、データ(協議会資料P104~109)上で沖縄県と全国標準地の値に開きがある項目について、中間評価の際に沖縄県外と比較し沖縄県の現状を確認いただきたい旨の発言があった。併せて埴岡委員から、本データは医療圏や市区町村別単位で取り出せるので、より詳細な情報で確認することができるとの追加説明があった。

2. 天野委員報告

天野委員から資料6に基づき、以下3点を中心に情報提供等報告があった。

- ① 全国がん患者団体連合会「がん患者学会2019」
- ② 国内でのがんに関する研究への患者・市民参画(PPI)
- ③ 国内でのがんに関する全ゲノム解析の推進

3. 新垣委員報告

新垣委員(18号委員)から資料7に基づき、「がんと就労」について情報提供等報告があった。

また、安里香代子委員(17号委員)からがん患者の就労支援活動について、離島や中小企業では未だ浸透していないことから県主導で就労支援の普及を行うことはできないかとの発言があり、沖縄県医療保健部系数氏(砂川9号委員代理)から、就労支援は労働局が中心となる事業であるとの説明があった。併せて、系数委員から、県と労働局は就労に関して連携していることから、まずは労働局に本件を提案する等の検討を始めた旨の回答があった。

その他、がん患者の就労支援として、以下2点の情報提供があった。

- ① 天野委員から、広島県では県主体で「Team(チーム)がん対策広島」といった企業間のネットワーク構築を行っている。
- ② 本竹委員(2号委員)から、県立中部病院と那覇市立病院では、ハローワークと協定を結んだ。

審議事項

1. がんゲノム医療について

増田委員から資料8に基づき、「がんゲノム医療」に関して、琉球大学が今年度厚生労働省の「がんゲノム拠点病院」の指定を受けることができなかったことの報告があった。また、今後は「がんゲノム中核拠点病院」である九州大学病院の連携病院として、琉球大学で以下のスケジュールのとおりがんゲノムの保険診療が可能になるよう準備を進めることについて説明があり、異議なく承認された。

- ・令和元年12月琉大病院内でがんゲノム診療開始
- ・令和2年2月から琉大病院外の医療機関からの紹介に対応する

また、天野委員から、沖縄県は島しょ県のため陸路でがんゲノム拠点病院等へ受診することができないことから、診療機会の確保のためにがんゲノム拠点を目指していただきたいこと、また、指定を受けるためには次の申請までに臨床研究等の実施数を増やすことが求められる旨の発言があった。大屋議長から、琉球大学医学部附属病院内での臨床研究等の体制強化に努めつつ、県内各病院と連携し臨床研究等の実績数を増やしていきたいとの回答があった。

2. がん患者さんの生殖機能温存について

増田委員から資料9に基づき、小児AYA部会からの提案として、がん患者さんの生殖機能の温存について、以下のとおり説明があった。

(提案の主旨)

がん患者の生殖機能の温存について、小児AYA世代の患者(保護者を含む)を含む全対象者への説明等対応が充分になされていない状況があることから、全ての対象患者に対し情報提供を行う体制を整えることを目的とする。

(説明方法等)

がん患者にとって、告知の段階で妊孕性温存療法についての詳細な内容まで受け止められないであろうことから、具体的な説明は告知後2回目の説明の際に資料9-5を用いて改めて説明することを想定している。また、金額面を含め、より詳細な内容については、琉球大学医学部附属病院の「妊孕性温存療法」の専門外来で対応する。

(今後の計画)

今後、琉球大学医学部附属病院において、資料9-5を用いて全対象患者等へ生殖機能の温存の説明を徹底し、運用を確認後、年内を目標に本協議会に参画している拠点病院等で同様の説明方法を推進したい。また、次年度には拠点病院以外の県内医療機関等へも提案し、県内で統一文書を用いた説明方法の体制を構築していきたい。

審議の結果、原案のとおり琉球大学医学部附属病院で実行することが承認された。

また、実際に患者説明での状況等や以下の意見も参考にし、必要に応じて小児AYA部会で説明文等を修正し、その他拠点病院等へ提案していくこととなった。

【主な意見】

(天野委員)

精子保存に比べ、現状では卵子保存をしても妊娠できないこともあることから、妊孕性温存療法についての説明で患者に希望を持たせることは重要であるが、同時に、必ずしも妊娠できるものではないことを伝えることも必要ではないか。

(安里委員)

AYA世代は就労していないことも多いため、費用についての説明もしっかり行うことが望ましいのではないか。

その他、真栄里委員(17号委員)から、生殖機能の温存は琉球大学でのみの対応であることから、県に対し離島への支援等について検討していただきたい旨の発言があった。

3. 令和元年度の協議会・幹事会の開催日時について

増田委員から資料10に基づき、令和元年度の協議会・幹事会の開催日時について説明があり、開催日程について異議なく承認された。

また、増田委員から令和2年1月6日の幹事会は年明け平日初日であることから、幹事会委員の参加の可否を確認し、参加者が少数の場合日程を検討したいとの発言があった。

報告事項

1. 患者会等よりの報告

(1) 安里委員報告

安里香代子委員から資料11に基づき、令和元年8月17日に開催した第7回離島がんフォーラム開催IN宮古島及び第5回離島がんフォーラム開催IN久米島について報告があった。離島からの視点として、以前に比べ離島での講演でも医療者による専門性の高い内容が求められていること、離島支援の充実が強化されているが沖縄本島と同水準に達していないとの状況報告があった。

また、真栄里委員から患者の意見として、以下の事例の報告があり、離島に所在する患者に対し更なる情報提供や経済的負担の解消に向けた取り組みを希望する旨の発言があった。

(事例紹介) 離島から連携室を介し入院予定として琉球大学医学部附属病院へ来院したが、検査実施後即日入院できず、宿泊先等の準備や宿泊費又は再度患者の所在する離島へ戻る経済的負担があった。

(2) 片倉委員報告

片倉委員(17号委員)から資料12に基づき、全国での小児がんの子どもを守る会のイベントについて報告があった。また、2月15日の小児がんデーに合わせ、令和2年2月9日にパレット久茂地前広場又はサンエーメインプレイス2階で小児がんの啓発イベントの開催を予定しているとの報告があった。また、令和元年9月21日にコンベンションセンターで予定していた九州沖縄小児がん医療提供体制協議会の市民公開講座は台風のため中止となったとの報告があった。

(3) 真栄里委員報告

真栄里委員から当日配布資料に基づき、宮古島市において若年がん患者在宅療養支援の要請が採択されたとの報告があった。また、難病患者等の渡航費等助成申請について要件が緩和され、より利用しやすいものとなったとの報告があった。

2. 「がん教育」について

増田委員から資料13に基づき、文部科学省委託事業「がん教育総合支援事業」における沖縄県事業計画について、県内の動向について報告があった。また、今後の取り組み等について以下の通り報告があった。

- ① 令和2年度は県内全ての公立中学校、高等学校の保健体育の授業1コマとして、保健体育教諭によるがん教育について実施される予定である。
- ② 令和4年度には保健体育教諭と共同で、令和3年度に研修を受けた医療者・がん患者関係等外部講師が保健体育の授業を受け持つことを目標している。

続いて、増田委員から資料14に基づき、令和元年10月25日に京都市で開催された文部科学省が主催する令和元年度がん教育研修会に「がん教育総合支援事業」モデル校である向陽高等学校、具志頭中学校の各担当教諭及び増田委員で参加した旨の報告があった。

3～5. 第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議及び各部会報告について

増田委員から資料15から17に基づき第12回都道府県がん診療連携拠点病院連絡会議及び各部会報告について報告があった。

6. 沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について

増田委員から、資料18に基づき、沖縄県がん地域連携クリティカルパス適用状況について報告があった。

7. 沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について

増田委員から、資料19に基づき、沖縄県がん患者等支援事業の活動報告があった。

8. 沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について

増田委員から資料20に基づき、沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告があった。

9. 厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議

増田委員から資料21～資料23に基づき厚生労働省におけるがん関連審議会及び各種会議について報告があった。

10. その他

・埴岡委員から、第7次沖縄県医療計画に係る医療機関の掲載要件案について、がん種ごとに要件を狭めた専門医療機関の掲載を行うことについての進捗状況の確認があり、沖縄県保健医療部健康長寿課糸数氏（砂川9号委員代理）から諸議論を重ね時間を要したが、県での案がまとまったことから、近日実施する医療機能調査で各医療機関からの回答を受け、公表する予定であるとの回答があった。

・オブザーバー参加の中島氏（琉球大学医学部附属病院地域医療部）から、当日配布資料に基づき、琉球大学医学部附属病院が国内大学病院初（国内4施設目）となる欧州臨床腫瘍学会が提供するESMO-DCに認定されたとの報告があった。また、中島氏から、この認定は、がん治療と緩和ケアの統合を高いレベルで実践している医療機関に対するものであり、この認定がゴールではなく、今後さらにオール沖縄として緩和ケア領域の連携を進めていきたいとの発言があった。

部会報告事項

1. 医療部会（報告なし）

2. 緩和ケア・在宅医療部会

笹良部会長から資料24に基づき、緩和ケア・在宅医療部会の活動・取り組み状況について報告があった。

3. 小児・AYA部会

百名委員から資料25に基づき、小児・AYA部会の活動・取り組み状況について報告があった。

4. 離島・へき地部会

松村委員から資料26に基づき、離島・へき地部会の活動・取り組み状況について報告があった。

また、高額医薬品を購入することについての弾力的な運用手段及びセキュリティ強化を含んだ通信環境の整備が離島・へき地からの強い要望があるとの報告があった。

5. 情報提供・相談支援部会

大久保情報提供・相談支援部会員から資料27に基づき、情報提供・相談支援部会の活動・取り組み状況について報告があった。

6. ベンチマーク部会（報告なし）

(以上)